

平成20年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- ・学力向上対策、特に家庭学習を徹底させる。
- ・進路指導に関する実績・記録の整理・活用に努める。
- ・面談を通して生徒理解に努め、教師と生徒の信頼関係を深める。
- ・地域・保護者・生徒との絆を大切にし、深化を図る。
- ・生徒に求める生き方、行動をまず教師が率先垂範するよう努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色や指導方針を保護者に十分に伝え、理解を得る方法に課題を残している。 ・家庭学習の習慣化を図る取組が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と気軽に意見交換ができる機会を多く設定する必要がある。 ・家庭学習の習慣化には保護者からの要望も強い。 ・信頼される学校づくりの推進を期待されている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の強化。 ・日常の授業内容の充実を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけさせ、非行事故の防止に努める効果は現れている。 ・教育相談の充実には、今後一層の取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の身だしなみについては、保護者からも評価されているが、生徒自身の考えも把握し理解させる必要がある。 ・教育相談では、家庭や関係機関との協力、連携が必要不可欠である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な教育相談体制の整備。 ・文武両道の実現。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路選択や進路実現に向けて、保護者との連携が不十分である。 ・職業観・勤労観の育成が一層求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の段階から生徒や保護者との相互理解が重要である。 ・講習の充実などにより、進学面での効果が出ている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に三者面談を実施。 ・インターンシップの有効活用。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの公表 ・保護者へ公表 ・学校関係者への公表 	